



神奈川学習センターと周辺の様子

**目次**

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| まちづくりとエネルギー .....                     | 2  |
| 入学おめでとうございます .....                    | 4  |
| 2024 年度 1 学期 入学者の集い .....             | 5  |
| 春のフェスタ・ヨコハマ .....                     | 5  |
| 2023 年度学位記授与式 .....                   | 6  |
| 令和 6 年度第 1 学期「放送大学における勉強の仕方」講習会 ..... | 6  |
| 卒業研究履修ガイダンス .....                     | 6  |
| 令和 6 年度 神奈川学習センター開講ゼミ一覧 .....         | 7  |
| 2024 年度 1 学期入学者の学生生活に関するアンケート .....   | 8  |
| K-サポートからのお知らせ .....                   | 9  |
| 学生サークルからのお知らせ・神奈川同窓会だより .....         | 10 |
| 神奈川学習センターからのお知らせ .....                | 12 |

## まちづくりとエネルギー

放送大学神奈川学習センター客員教授

佐土原 聡



今、私たちの生活を支えているエネルギー供給のしくみが、かつてないほど大きく変化しています。その変化の一つは、電力市場の自由化と再生可能エネルギー（以下、再エネ）の大量導入によるものです。私たちが地域独占電力会社の大規模発電所から一方的に電気を買っていたしくみから、再エネをはじめとした様々な規模の分散電源が加わり、私たちが電気の消費者であると同時に供給者にもなれるしくみに変わりました。もう一つは、カーボンニュートラル社会実現に向けて、水素社会への動きが本格的に始まったことです。私はまちづくりとエネルギーについて研究しています。そこで、まちづくりにおけるエネルギーの大きな変化をご紹介します。

「地域冷暖房」をご存知でしょうか。初めて聞く人は、地域の屋内・屋外全体を冷暖房する姿を想像するかもしれませんが、そうではなく、熱源プラントを設けて、そこから冷水や温水・蒸気などを配管で送って冷暖房を行うしくみです（図1）。身近な導入例には横浜みなとみらい21地区があります。みなとみらい中央地区では、2カ所の熱源プラントですべての建物の冷暖房が行われています。日本の地域冷暖房は、1970年の大阪万博での地域冷房実現を契機に始まり、現在は全国100地区以上にみられます。

この地域冷暖房が、まちづくりによるエネルギーシステムの一つの姿です。建物の計画は建築主と設計者が相談すれば済みますが、地域冷暖房ではそうはいきません。複数の建築主との相談・調整や道路下などの配管の敷設、熱供給事業主体の立ち上げなどで多くの関係者が関わり、再開発などのまちづくりと一体で進められます。こうした

手順をふみ、建設費もかかる地域冷暖房が、なぜ必要なのでしょう。

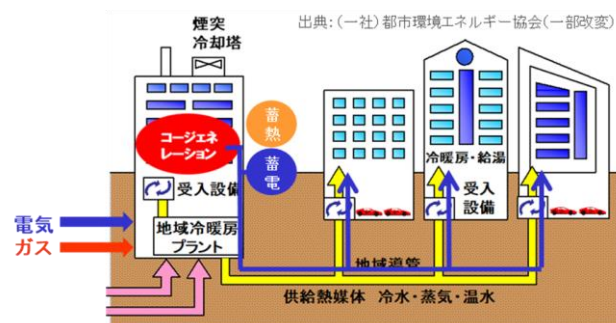


図1 地域冷暖房とコージェネレーション

ご存知のとおり、日本は2030年度に2013年度比46%の温室効果ガス排出削減（2030年カーボンハーフ）を目標とし、2050年カーボンニュートラル宣言をしています。エネルギー消費に伴うCO<sub>2</sub>排出削減対策は待ったなしで、特に都市域の対策が強く求められています。また、私たちは2011年の東日本大震災で計画停電を経験し、2018年の北海道胆振東部地震では北海道全域の停電が発生し、本年元日の能登半島地震でも甚大な被害が出ました。

都市の省エネ・CO<sub>2</sub>排出削減、エネルギーシステムの強靱化の両面からの対策として、電気と熱を同時に生み出すコージェネレーション（以下、コージェネ）の導入があります。街中に分散型電源となるコージェネを設置し、大地震時にもこわれないとされる中圧ガス管から都市ガス供給を受ける強靱なシステムとします。大規模発電所では排熱を海などに捨てますが、コージェネでは、地域冷暖房があれば熱を周辺建物に供給して省エネ・CO<sub>2</sub>排出削減ができます。電力市場の自由化



で、このようなコージェネを導入しやすくなりました。

また、地域冷暖房では都市内の未利用エネルギーの活用も可能です。図2は東京都心部の地域冷暖房地区と清掃工場の立地を示しています。両者が近接しているのがわかります。現在、清掃工場の多くは発電がメインですが、ごみに混じる様々な成分の関係で発電効率は低く、最新設備でも20%程度（通常の発電所は50%を超える）です。その分、多くの排熱が出るので、それを利用すれば大幅な省エネ・CO<sub>2</sub>排出削減ができます。熱源プラントと清掃工場を配管でつなげば、それが実現できます。



図2 東京都心部の地域冷暖房地区と清掃工場

このように、2030年カーボンハーフに向けて、高密度な都市域では再開発を契機に地域冷暖房を導入し、コージェネの設置、未利用エネルギーの活用を進めることが有効なので、地域冷暖房が必要なのです。

しかし、この取組みだけでは、高密度な都市域の2050年カーボンニュートラルには到達できま

せん。依然として化石燃料に頼る部分があるからです。そこで、切り札と考えられるのが、再エネからつくるグリーン水素の活用です。これまで石炭→石油→天然ガスとCO<sub>2</sub>排出量が少ない燃料への移行が進み、CO<sub>2</sub>排出ゼロの水素の時代が来るといわれて久しいのですが、ようやく世界が水素社会実現に向けて本格的に動き始めました。

地球上の活動は、本来、太陽と地球内部のエネルギーが原動力です。カーボンニュートラル社会では、この本来の形に沿うことが求められます。地球上の太陽光や風力をはじめとした再エネが得られる場所や時間、その量には偏りがあり、使う側の都市域の立地も偏っています。その偏りを埋めるのが水素です。再エネが豊かな地域で発電し、水を電気分解して水素を生産し、貯め、必要などころへ運ぶなど、地球上で万遍なく活用するための媒体になります。

しかし、水素は都市ガスなどに比べて扱いがむずかしく、「つくる」「ためる」「はこぶ」「つかう」の各段階で、解決すべき課題がたくさんあります。一例を挙げると、漏れやすい水素を「はこぶ」ためのパイプラインや漏洩検知などの技術開発、「つかう」ための水素に対応した機器の開発などです。

今、世界各国が水素戦略を策定しています。日本は世界に先駆けて2017年に策定、2023年に改定が行われ、本年3月に「水素社会推進法」が制定されて、官民挙げて水素社会に向けた取組みが進みつつあります。

グリーン水素を地域冷暖房の熱源プラントへ導入する取組みも始まりました。熱源プラントの燃料に、CO<sub>2</sub>が発生しない水素を活用するものです。一般のビルでの利用はむずかしいですが、管理が行き届いた熱源プラントで、まずは可能になると思われます。実際、みなとみらい21地区、東京の臨海部の地域冷暖房で、今年度から水素利用の実証事業が始まりました。

エネルギーは、生活に不可欠であるにもかかわらず、目に見えず、とらえにくいものですが、私たちが、このような時代にめぐり合わせていることを大事にして、これから展開する大きな変化を注視していきたいと思います。

## 入学おめでとうございます

放送大学神奈川学習センター所長

大谷 英雄



ご入学、誠におめでとうございます。

今年は近年になく開花が遅れた満開の桜の中、放送大学での学びという新しい一步を踏み出された皆様に敬意を表したいと思います。

放送大学は 1983 年に設置された大学で昨年 40 周年を迎えました。学習センターの Web ページ右上に 40 周年記念サイトのバナーがありますので興味がありましたらご覧になってください。

学習センターでは面接授業やゼミが実施される他、学生のサークル活動なども行われ、教員と、あるいは学生同士で交流する機会が用意されています。ゼミやサークル活動に参加して学友との交流の機会を持っていただければと思います。

一方で、放送大学ではインターネットを利用した Web での期末試験が実施されています。オンライン授業やライブ Web 授業といった従来の面接授業に替わるインターネットを利用した授業も徐々に増えてきています。

情報通信技術(ICT)に不慣れだという方もおられるかもしれませんが、すでに日常生活に ICT が深く関わっている時代になっていますので、大学生活の基盤技術として ICT を使いこなせるようになる努力をお願いしたいと思います。

昨年度の学位記授与式で岩永学長がフランシス・ベーコンの話を取り上げていました。英国の哲学者フランシス・ベーコンによれば、学ぶことによって得られる知識には誤解や先入観、あるいは偏見がつきまとうことも否定できない。ベーコンのイドラ論に言うイドラとは人間の偏見、先入観、誤りなどであり、4 つのイドラを挙げています。

一つ目は種族のイドラ「その根拠を人間という種にもっている」もので、人間の感覚における錯覚や人間の本性にもとづく偏見で、水平線・地平線上の太陽は大きく見えることや「幽霊の正体見たり枯れ尾花」といった見誤りが挙げられます。

二つ目は洞窟のイドラ「個人の経験による」もので、それぞれの個人の性癖、習慣、教育や狭い経験などによってももの見方がゆがめられることを指し、「井の中の蛙（かわず）」と言われるようなものです。

三つめは市場のイドラ「人類相互の接触と交際によるもの」で、言葉の不正確ないし不適當な使用によって引き起こされる偏見を指し、近年問題になっているフェイクニュースがこれにあたるでしょう。

四つ目は劇場のイドラ「思想家たちの思想や学説によって生じた誤り、ないし、権威や伝統を無批判に信じることから生じるもの」のことです。中世においては圧倒的な権威であったカトリック教会が天動説的な宇宙観を唱えていて、一般市民はそれを信じていました。

ベーコンは、この 4 つのイドラを取り除いて初めて、人は真理にたどり着け、本来の姿を取り戻すことができると説いています。

インターネットにより知識を得ることは簡単になりましたが、偏見をあおるようなフェイクニュースなどで真理にたどり着くのは簡単なことではないかもしれません。大学での学びは真理にたどり着く力を養うためのものだと思います。4 つのイドラを意識しながら学び続けて真理にたどり着く力を身につけて欲しいと思っています。



## 2024 年度 第 1 学期 入学者の集い

4 月 7 日（日）午後に、2024 年度第 1 学期入学者の集いが学習センター第 8・9 講義室で開催されました。対面による開催は 2019 年度第 2 学期以来 4 年半ぶりでした。

式次第は、学長挨拶（DVD 映像）、所長式辞、来賓祝辞、客員教授紹介・挨拶、学歌合唱（DVD 映像）などで、88 名の新入生が参加しました。

続いてオリエンテーションが実施され、教務係から授業の履修の仕方や学習センターの利用方法について、パワーポイントを用いて説明が行われました。その後、「K-サポート」や「若者の集い」の説明・紹介もあり、たいへん有意義な時間となりました。



## 春のフェスタ・ヨコハマ

2024 年 3 月 10 日（日）に春のフェスタ・ヨコハマ（神奈川学習センターミニ学園祭）が放送大学神奈川学習センター第 8・9 講義室にて開催されました。



前半 13:00～14:30 は公開講演会で、富岡幸一郎（放送大学神奈川学習センター客員教授：当時）関東学院大学教授に「鎌倉文士とカマクラの歴史」の演題で講演いただきました。昭和の初めに文学者が鎌倉に集まってきて文芸雑誌「文学界」を創刊したこと、「文士」という言葉から武家の古都鎌倉の「武士」を連想できること、中世のカマク

ラと近代のカマクラが日本人の魂となっていくことを示され、文化と歴史を感じることもできるカマクラについてご紹介いただきました。



後半 14:45～16:00 はビブリオバトルで、ルール（発表参加者が面白いと思った本を持って集まる。発表参加者が 1 人 5 分間で本を紹介する。参加者全員でその発表に関するディスカッションを 2～3 分間行う。「一番読みたくなった本」を参加者全員が 10 人 1 票投票し最多票を集めた本をチャンプ本とする）に沿って進められ、韓国語同好会の村田カズ子さんが紹介した「スゴ母列伝」（堀越英美著 大和書房）がチャンプ本となりました。



## 2023 年度学位記授与式

3月23日（土）にベルサール高田馬場（東京都新宿区）において2023（令和5）年度学位記授与式が行われ、全国から卒業生・修了生が参加しました。

神奈川学習センター所属の卒業生は232名、修了生が13名でした。また、神奈川学習センターでは、5名の方が名誉学生となりました。皆さん、おめでとうございます。

また、学位記授与式会場から卒業・修了祝賀パーティ会場の京王プラザホテル（東京都新宿区）へのバス移動や卒業祝賀パーティ会場の運営に神奈川同窓会を中心として同窓会連合会実行委員が協力しました。



## 令和6年度第1学期「放送大学における勉強の仕方」講習会



4月27日（土）に第8講義室にて「放送大学における勉強の仕方」講習会が対面により実施され、8名の学生が参加しました。大谷所長がパワーポイントを用いながら、放送大学における勉強の仕方について講演・説明され、参加した学生は熱心に聞き入っていました。

終了後、第8講義室では、K-サポート学習相談チームによる「学習相談会」が開催され、参加

学生と相談員と一緒に学習上の課題を考える姿が見られました。



## 卒業研究履修ガイダンス

6月22日（土）、2025年度に卒業研究の履修を検討されている学生を対象として卒業研究履修ガイダンスがオンライン（Zoom）で開催され、全国の学習センターに所属する学生の参加がありました。

ガイダンスでは、まず本部学生課から卒業研究の履修手続きについて説明があり、その後情報コースの柳沼良和教授から、研究テーマの選び方や研究の進め方、卒業研究報告書のまとめ方について説明がありました。

## 令和 6 年度 神奈川学習センター開講ゼミ一覧

神奈川学習センターのゼミは、所長、客員教員が主催する勉強会です。自由な雰囲気、先生からの指導、学生相互の意見交換、親睦を深めることができます。

ゼミへの参加を希望される方は、神奈川学習センターウェブサイトのトップページに掲載の「神奈川学習センター実施のゼミのご案内」のリンク先から、注意事項を確認のうえ申請を行ってください。

### ●神奈川学習センター客員教員開講ゼミ

| 教員名   | ゼミ名                              | 活動内容                                                                                                                                                                                                                                             | 開催予定日                       |
|-------|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| 飯田 深雪 | 英語ゼミ（英文講読－英米文学を通して考える「異文化との出会い」） | 日系アメリカ文学（『Desert Exile』 by Yoshiko Uchida を教材とし、遠隔で英文理解、内容の鑑賞、ディスカッションなどを行う。                                                                                                                                                                     | 毎月第 2 土曜日                   |
| 植村 博恭 | グローバル時代の社会と経済政策：生活者の視点から考える      | 本ゼミナールは、グローバル時代の社会と経済政策のあり方について学びます。特に、様々な身近な問題を毎日働き暮らしている生活者の視点で考えていきたいと思います。日本企業における働き方の改革、男女平等社会の実現、退職後の安心できる暮らし、個人資産の有効な管理と運用などを取り上げつつ、私たちひとりひとりの生活を支えてくれる経済政策のあり方はどのようなものか、勉強していきます。特に、若者、中堅世代、高齢者、女性、男性といった様々な世代の市民の観点からゼミを進めて行きたいと考えています。 | 毎月 2 回金曜日<br>(Zoom 及び対面)    |
| 大谷 英雄 | リスクを考える                          | 現代はリスク社会と言われ新型コロナ感染のリスクや南海トラフ巨大地震のリスクなどがマスコミでも取り上げられることが多いが、一方でリスクはあるかないかを議論するものではなくて大きい小さいかが議論されるべきものであるのに、そのあたりの議論は進んでいない。このゼミではリスクの捉え方や伝え方などについて議論していきたい。                                                                                     | 毎月第 3 火曜日<br>学生との調整により変更もあり |
| 大矢 勝  | 洗浄科学ゼミ                           | 洗浄を通して科学的な態度を楽しむ姿勢を身に着けることを目的として、毎回洗浄に関する別のテーマを設定し、それぞれの有効な洗浄方法とその仕組みについて考えていきます。<br>※開講期間 2024 年 10 月 1 日～2025 年 1 月 16 日                                                                                                                       | 毎月第 2 木曜日                   |
| 間嶋 隆一 | 地質学・古生物学ゼミ                       | 神奈川県下の地層と化石を対象に、野外見学を中心に学習します。センター講義室で隔月程度の間隔で開催するゼミ（14:00～17:00）と不定期 6 回程度開催する野外での地層見学（10:00～17:00）を実施します。                                                                                                                                      | 最初のゼミ日に日程調整します              |

### ●元客員教員開講ゼミ

| 教員名   | ゼミ名       | 活動内容                                                                                                                      | 開催予定日                    |
|-------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| 上川 孝夫 | 上川ゼミナール   | 経済学や経済史、国際金融を中心に、文献を輪読し、討論を行います。また必要に応じて、ゼミ生による研究報告会を実施します。                                                               | 毎月第 3 土曜日                |
| 高橋 邦年 | 英語基礎ゼミナール | 毎回 2.5 時間（休憩 10 分）の活動を行う。平易な英語教科書を選び、必要に応じて講師が内容について説明・解説をし、それを受けて学生が演習を行なう。進度はあらかじめ定めず、無理なく進める。<br>現在、新規のゼミ生の募集は行っていません。 | 基本的に毎月第 2 土曜日あるいは第 3 土曜日 |



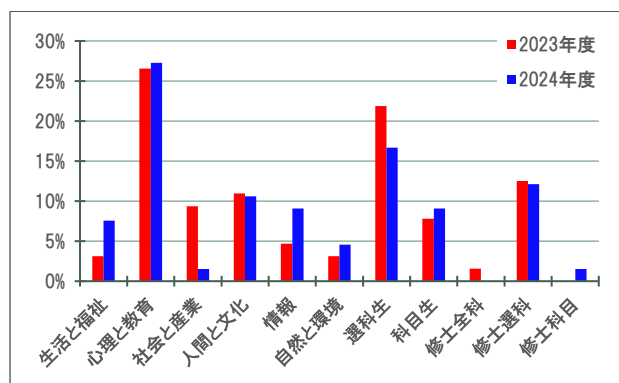
## 2024 年度 1 学期入学者の 学生生活に関するアンケート

Kーサポート機関誌編集チーム

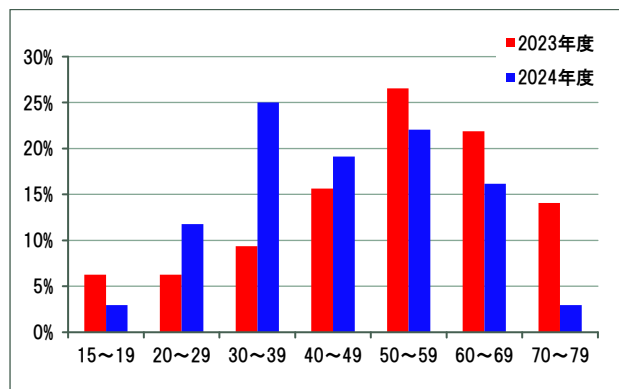
2024 年 4 月 7 日、5 年ぶりとなる学習センターを会場とした入学者の集いが開催されました。機関誌編集チームは、学習センターと協力して、アンケート用紙を利用した無記名の学生生活に関するアンケートを行いました。70 名の新入生の方から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

アンケートの結果をグラフ（縦軸に、アンケート提出者総数に対する回答数の割合で表示しています）に示し、前年度の 1 学期の結果と対比しながら報告します。

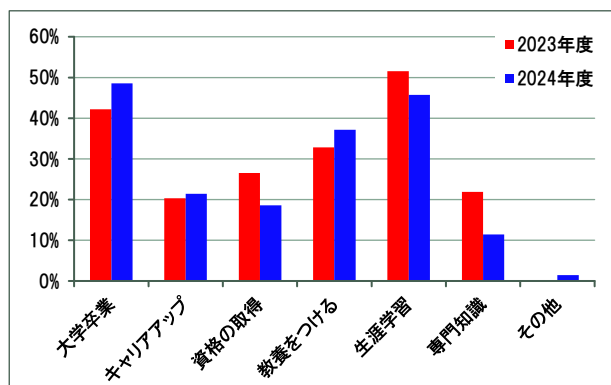
最初の項目は、入学者の学生の種類です。傾向は、前年とほぼ変わりありません。細かく見ると全科生の情報コースおよび生活と福祉コースが増え、社会と産業が少なくなりました。



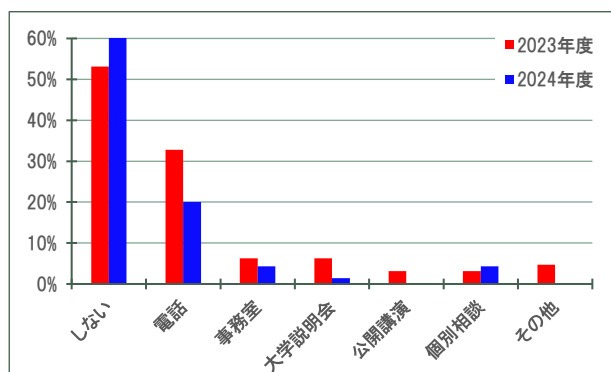
次は年齢構成。昨年度は、50 歳代をピークとしていましたが、今年度は、30～50 歳代にピークが広がりました。また、19 歳以下 70 歳以上が少ない傾向が顕著でした。30 歳代は、近年少ない傾向が続いていましたが、一転して多くなりました。



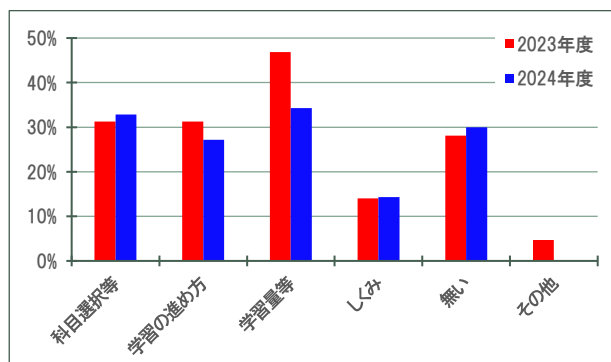
入学動機については、資格や専門知識の回答が少なめで、卒業、教養が高めになりました。近年は、資格やキャリアアップの傾向が強くなってきていたので、今後の動向が注目されます。



入学前に、相談や問い合わせをしたか？については、昨年より、しなかったという方が増えました。この一年は、コロナ禍が過ぎて、相談したという方が多くなる傾向がありましたので、揺れ戻し等なのか？入学者の質が変わってきているのか、今後の動向に注意したいと思います。

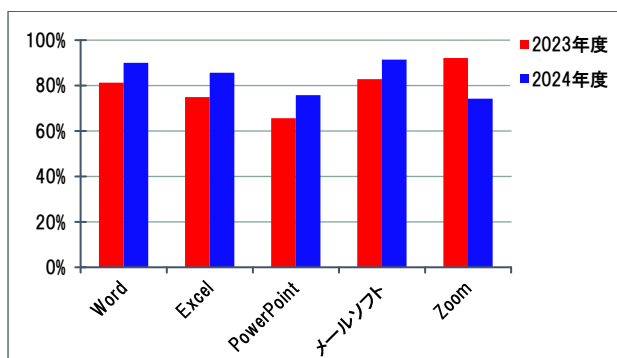


放送大学について十分に理解できていないことについての質問項目です。単位をとるために必要な学習量の項目が減少しているのが目立ちました。一般的には、学習が進んで行くと一番最後までわからないことになる項目なので、学習に対する理解が昨年ほど進んでいないと想像できます。





パソコンの習熟度についての項目です。このアンケート項目になってからはじめての「(Zoom ではない) 対面の入学者の集い」においてのアンケートになりました。メールソフトの利用比率が高く、パワーポイントが低いのは、ずっと継続している昨年同様の傾向ですが、パワーポイントよりも Zoom 利用はさらに低いという結果になりました。(今までは、Zoom で開催してきたこともあり、もっとも利用率が高い回答になっていました) 現状、入学者の Zoom 利用率は、十分に高いものではなく、入学者の集い等は、Zoom のみの開催ではなく、対面開催や、Zoom と対面のハイブリッド開催が望ましいと思われる状況です。また、Zoom 開催と対面開催で、パソコンソフトの習熟については、Zoom 以外に明らかな差異は見られませんでした。



自由記入欄について、以下にまとめました。個性的な回答が多く、明らかな共通した傾向はありませんでした。

K-サポートでも入学者の多様性に対して、きめ細かなサポートを行ってゆくのが望ましいと思いました。

#### 《自由記入欄》※

- ・オリエンテーションで得られる情報が、期待していたものとは違った。(3名)
- ・先生や諸先輩のお話しに学習意欲が湧いた。(4名)
- ・たくさんの学友がいることがわかり心強くなった。(3名)
- ・式の雰囲気がよかった。学生時代を思い出した。(3名)
- ・学習センターに定期的に通って、学習を軌道に乗せたい。(2名)
- ・K-サポートで、先輩学生に相談する機会があることがわかった。(4名)
- ・サークルに入る気持ちは無かったが、スピーチを聞いて入ってみようと思った。(3名)

※類似のもの含めて2名以上から同様の回答があったもののみ。( )内は回答人数。

## K-サポートからのお知らせ

はじめに、学習相談チームとパソコンサポートチームの第1学期の今後の予定をお知らせします。

### ■ 学習相談チーム

8月25日(日)に科目登録学習相談会を開催します。学習センター2階第4講義室にて、受付時間は13:00~16:00(予約不要)です。内容は放送大学での学習のことであれば科目登録に関すること以外でも学生や卒業生の立場で相談に応じています。

### ■ パソコンサポートチーム

8月18日(日)、24日(土)(原則13:00~15:30)に学習センター1階実習室でパソコン初心者塾を開催します。申込みは、学習センター1階ホールにパンフレットと一緒に備えてある申込用紙を記入し横の専用投函箱に入れてください。受講にはノートパソコンかタブレット持参が必須です。お持ちでない方には機種選定等のアドバイスをいたします。

**科目登録 学習相談会**のお知らせ

日時: 2024年8月25日(日)  
 時間: 13:00~17:00(受付16:00まで)  
 場所: 2F 第4講義室  
 内容: ⇨2024年度2学期の科目登録相談  
 申込: 直接、2F 第4講義室の相談会場にお越しください(予約不要)

＜ご注意＞  
 システム NIMBA を利用した科目登録手続きのサポートを希望する方は、「学習センター内でインターネット接続可能なノートパソコン等」をご持参ください。  
 なお、インターネット接続のサポートはいたしませんので、ご了承ください。

**Kサポート** 学習相談チーム

パンフレット 2024年度1学期 **Kサポート**

**パソコン初心者塾** 無料

【実施内容】  
 ネット配信授業の視聴 通信指導提出(Web)  
 Web単位認定試験 科目登録申請(Web)  
 パソコン基本操作 Word Excel PowerPoint  
 チャットAI等

【使用パソコンなど】  
 ノートパソコン タブレット スマホは必須不可(必須)  
 (スマホ) (タブレット) 持参必須

【運営体制】  
 パソコンサポートチーム 神奈川学習センター  
 受講生支援 企画・運営 学習センターとの連携 教材準備など 実習室の備品 申込受付 資料印刷など

【対象】 放送大学の学生(注)でパソコンなど経験無の方は 放送大学ホームページ等が利用できない方又はWord・Excel・PowerPointの初心者  
 (注) 他学習センター(2023年度)の学生の中込み、他校舎の学生は参加できません  
 の参加に支障をきたす場合は、他校舎の学生は参加できません

【参加料】 無料 申込必要・欠席連絡厳守! 連絡先: Kサポート事務局

続いてお知らせするのは、全国の学習センター・サテライトスペースを紹介する放送大学のスポット番組で神奈川学習センターが取り上げられ K-サポート活動が紹介されたことです。放映は BS テレビの 232 サブチャンネルで放映され(番組長さ1分間)、大変、簡潔に活動の全体像が紹介されています。

(K-サポート事務局)

## 学生サークルからのお知らせ

※サークルの活動内容や加入等に関するお問い合わせは、下記の各サークルの連絡先にお問い合わせください。神奈川学習センターではお答えすることができません。

### ■ 神奈川放友会

◆1985 年創立。『学び、遊び、助け合い、人生を楽しむ』をスローガンに、現在 110 余名の会員が、積極的に活動に参加しています。

◆2024 年度 2 学期 行事予定

- 9 月 一泊研修旅行 千葉学習センター
- 10 月 秋季例会（講演）「危機管理について」
- 11 月 秋の学外活動「鶴見総持寺 座禅と精進料理」
- 11 月 チャリティーウォーキング「鎌倉広町緑地」
- 12 月 忘年会「ディナーコンサート」
- 1 月 冬季例会「落語の歴史と落語 2 席」
- 3 月 花見・卒業祝賀会 横浜 中華街

◆詳細・お問い合わせ

HP:<https://kanagawa-hoyukai.jp>

### ■ 韓国語同好会

★目的 韓国語の日常会話を習得し、韓国放送通信大学日本学科との日韓文化交流を通して日韓相互の生活、歴史、文化への学びを深めることを目的としています

★定例会 2 回/月

- ①第 1 土曜日 10:00～11:45 大岡地区センター
  - ②第 3 土曜日 10:00～12:00 Zoom（リモート）
- 授業＆親睦会（国際交流を目的に会員以外の有志参加可）

★レク活動 近郊の関連地散策、日韓交流会等  
興味をもたれた方、是非お仲間！

★お問い合わせ サークル協議会ホームページ（村田）  
<https://kcc-ouj.net/dantai/hangugo/index.html>

### ■ 拡大かながわレク・サークル

★サークル活動：放送大学生との「仲間作り」とウォーキング等の「健康づくり」

★例会：2 ヶ月に 1 回（含、映画鑑賞会）

★ウォーキング：2 ヶ月に 1 回、「鎌倉街道」実施中。名所旧跡文化施設等も対象。

★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。

上記の各種活動はいずれも自由参加。

－会員募集中（随時申込・受付）－

★お問い合わせ：島田 義治 Tel 090-3907-8384  
E-mail [bunsima829@gmail.com](mailto:bunsima829@gmail.com)

### ■ 人間学研究会

★「目的：人間の本質的・実質的なあり方について、多面的視野から学習。会員の交流と親睦を図る」 会員 62 名（男性 38 女性 24）

\* 月例会：卒業研究・旅行経験発表・茶話会・外部講師講演

原則：毎月第 2 土曜日 12:30

神奈川学習センターまたは大岡地区センター 2F  
日時 発表者、テーマ、概要はポスターを掲示

★会誌 ：せせらぎ 34 号発行

★ウォーキング：随時

★お問い合わせ：片野賢治  
[mt.dream@jcom.home.ne.jp](mailto:mt.dream@jcom.home.ne.jp)

### ■ うえるかむ Kanagawa

私達は英語を楽しみながら学んでいるサークルです。

\* 例会は原則、毎月第 2、第 4 水曜日。中級・上級は学習センターにて対面（入門は Zoom にてオンライン）開催

\* 外国人講師の英会話レッスン（10:00～11:30）  
（参加費有料、初中級・上級の 2 クラスに分かれ、各 45 分）

\* Group Study（13:30～15:30）  
（入門・中級・上級の 3 クラスに分かれ学生同士で学ぶ）

\* スクラブルデイ：第 2 金曜日 13:30 より対面

\* 年会費：現在は無料（通常は年 1,000 円）

\* ホームページ

<https://welcome-kanagawa.jimdofree.com>

\* お問い合わせ

金子 響(e-mail:[kaneko-toyomu@outlook.jp](mailto:kaneko-toyomu@outlook.jp))

### ■ 資格取得研究会

看護・福祉分野（心理や教育系も含む）のキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。目標の資格は、正看護師、看護学士、認定心理士など。例会は、現在不定期で、原則土日曜に開催。情報交換が中心。オンライン例会計画中。

★会費：¥500（1 年間）

★ホームページ… <http://shikaku.yumesora.net>

★お問い合わせ…080-5546-7913（はこぎき）

## ■ ダンスサークル（社交ダンス）

ダンスはスポーツ！人生 100 年時代に向けて健康増進、素敵な姿勢、ストレス解消に是非一緒に踊りましょう。コロナ前には 20 名でしたが現在は 10 名、優秀なインストラクターの元で毎回楽しくレッスンに励んでいます。

未経験者大歓迎です！ 先ずはお気軽に見学にお出で下さい。

★神奈川学習センター第 7 講義室

★毎月 2 回、原則第 2 と第 4 火曜 13:30～15:30

★会費 1500 円/月、年会費 1000 円 ★ダンスパーティーで踊れるレベルへ練習(モダン、ラテン)

★連絡先 中村健 tarumakan0904n@gmail.com

## ■ スペイン語研究会

★目的：西語日常会話習得と西語圏歴史・文化を学ぶ。

★活動：月 2 回（第 1・第 3 金曜日）。

★会費：初級 月 1,000 円 中級 月 2,000 円

★内容：ペルー人女性講師による日常会話習得、日常会話学習後における会員相互の学習会  
会員・ゲストスピーカーによる西語圏研究発表・講演。

★入会申込み：<https://cdek.yokohama/>

★連絡先：会長・中田博久

E-mail: cdek-yakuin@googlegroupes.com

## ■ 中国語学習会

中国語でチョット挨拶ができればなあとか、前から中国文化に興味あったけどという方。ニーハオ！中国語学習会です。中国人の先生と和気あいあい、一生懸命勉強しています。初めてでも、昔勉強した人も、大歓迎です。一緒に学ぶ仲間がいるのは心強いですね。第 2・4 日曜日の午前と午後、学習センターで、ぜひあなたも一緒に。

詳細は、下記までお問い合わせください。

elcondor@ra2.so-net.ne.jp：近藤または、  
tomomama4213@docomo.ne.jp：細矢まで。

## ■ 神奈川合唱団

★合唱未経験者歓迎

★合唱を愛好する皆さんと一緒に音楽を通して学生生活をエンジョイするサークルです。現在 30 有余名の学生が合唱を楽しんでいます。

★2024 年 4 月には、国際シニア合唱祭（みなとみらい大ホール）で＜聞こえる＞＜モルダウ＞を歌いました。

★指導は、発声・歌唱を清水一成先生（プロのオペラ歌手）

ピアノ伴奏を村上千絵先生のご指導で練習に励んでいます。

☆場 所：大岡地区センター 音楽室 2 階

（放送大学神奈川 SC の斜め前のビル）

☆練習日：毎月 第 2・4 水曜日

18:30～20:30

☆連絡先：nobukishi0429@gmail.com

## ■ 歩・歩の会（地球研）

目的：地球科学ゼミ（有馬ゼミ）を発展的解消し、結成されたサークルです。地球科学をベースに自然を学び「人新世(Anthropocene)」における地球環境危機について考えています。

活動：毎月一回程度

24 年観察場所：秩父 Geo、三浦半島、忍野八海、生田緑地、大磯丘陵、日立の地層、箱根カルデラ、銚子 Geo などの行脚。

☆ご興味のある方はご連絡ください。

（代表：吉岡・中澤）

e-mail earth.hoho.kanagawa@gmail.com

## 神奈川同窓会だより

### ■ ホームカミングデーのお知らせ

神奈川同窓会では、8 月 31 日（土）卒業・修了生とそのご家族などを対象に、母校で交流していただくホームカミングデーを開催いたします。

交流行事の他に、弘明寺サロン映画会※として、片渕須直監督のアニメーション『この世界の片隅に』を上映いたします。原作は、放送大学イメージキャラクター「まなびー」の作者こうの史代さんです。

※神奈川学習センター祭フェスタ・ヨコハマと共催

お問い合わせは、info@hatoh.net まで

### OUJ神奈川学習センターだより編集部

家田、伊藤、入江、遠田、笠井、吉川、木下、  
宮崎、三国（以上、K-サポート機関紙編集チーム）  
垣谷（K-サポート事務局）  
小峯（学習センター事務局）



# 神奈川学習センターからのお知らせ

## 2024（令和 6）年度 第 1 学期学位記授与式について

神奈川学習センターでは、2024（令和 6）年度 第 1 学期学位記授与式を以下のとおり挙行いたします。対象者には 8 月下旬に案内状を送付しますので、お申し込みのうえご出席ください（お申し込み方法は案内状をご確認ください）。

日 時 2024 年 9 月 29 日（日）14 時 00 分～15 時 00 分 13 時 30 分開場  
場 所 神奈川学習センター 2 階 第 8 講義室  
対象者 神奈川学習センターに所属の 2024 年度第 1 学期卒業確定者  
※卒業者以外の方の参加はできません。

## 2024 年度第 1 学期単位認定試験の成績通知について

第 1 学期の単位認定試験の成績は、8 月下旬に郵送される「成績通知書」によって通知します。また、システム WAKABA「教務情報 → 履修成績照会」でも成績を確認することができます。

## 学習センターにおける Wi-Fi の利用について

学習センターでは無線 LAN（Wi-Fi）が整備されており、個人でお持ちのパソコンやスマートフォン等でご利用いただけます。2023 年度から使用可能エリアが広がり、各講義室、図書室、視聴学習室、談話室、1F・2F ロビーなど概ねセンター全域で使用できます。

### < 利用方法 >

- ① 放送大学自己学習サイトの「情報セキュリティ研修（学生用）」を受講し、「修了証」を発行します。
- ② 学習センターの窓口で「修了証」を提示し、必要事項を記入した「無線 LAN 利用申請書」を提出してください。「無線 LAN 利用申請書」は、学習センターの窓口で配布しています。  
※「修了証」の提示がない場合は、申請を受け付けできません。
- ③ 交付された「無線 LAN 利用許可書」に記載の SSID を選択し、同許可書に記載されている認証用 ID およびパスワードを入力することでインターネット接続ができます。

### < 注意事項等 >

- ① 利用申請は、所属学習センターでのみ受け付けます。
- ② 他の学習センターでも、同じ認証用 ID・パスワードを使用してインターネット接続が可能です（一部の学習センターを除く）。
- ③ 在学期間満了や卒業後に再入学した場合は、再度利用申請を行う必要があります。

## 入学生募集!!

**資料のご請求** は年間を通して受け付けています（無料）。

ご家族やご友人で入学を検討されている方や、放送大学に興味があるという方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。大学案内パンフレット、授業科目案内、学生募集要項などをお送りします。気軽にお申し込みください。



放送大学 資料請求

検索